

01 「運用の手間」を減らし、「安心感」を得る。Nutanix が支える効率化

02 煩雑なシステム運用に終止符。Nutanix 導入で実現した負担軽減と安心感の両立

03 老舗プロバイダーが選んだ「安心の次世代基盤」。Nutanix 導入で刷新されたインフラ運用



ミテネインターネット株式会社は、福井県福井市に本社を置き、インターネット接続サービスやクラウドサービス、データセンター、セキュリティ対策などを提供する企業です。企業のIT課題を解決し、柔軟なインフラ構築と安定したサービスでビジネスの成長を支援しています。Nutanix導入前はシステムの更新作業やメンテナンスの負担が大きく、サーバー運用に常に不安がつきまっていたといいます。それだけでなく、万が一のトラブルに備えてストレージの強化やデータのバックアップを行うなど、安心を確保するための手間と労力も膨らんでいました。

Nutanix導入により、運用負荷軽減は見込まれるものの、これまでの実績ある運用方法を変えていくことへの不安もあったといいます。ただ、Nutanixや三谷商事の手厚いサポートにより、スムーズな導入が行え、運用負担の軽減や安定したシステム環境の実現に成功。導入後も安心して運用が続けられているといいます。

今回はミテネインターネット株式会社・東明男技術部長に、導入の背景や得られた効果、導入後の感想などについてお伺いしました。

運用管理に費やす膨大な時間と労力。
データ消失リスクもプレッシャーに

— まずは自己紹介をお願いします。

東様: ミテネインターネット株式会社の東と申します。1997年に入社して以来、ミテネインターネットの技術部門で、サービスの企画・運用・維持管理に携わってきました。具体的にはサーバーやデータセンターの運用を行うようなセクションです。現在はエンジニアとして自ら手を動かすことはなくなりましたが、他の運用スタッフと一緒に運用に携わっております。

— Nutanix 導入のきっかけを教えてください。

東様: もともと当社では2012年から「mitene Cloud(ミテネクラウド)」というクラウドサービスを開始しており、その時からクラウド環境には投資をしてきた背景があります。今回導入したNutanixは、当社の中で第3世代にあたる投資で、2022年に導入しました。

その前は別のハイパーバイザーを使用していたのですが、運用管理の負担が大きく、メンテナンスやアップデートのたびに多くの時間と労力を割いているような状態でした。万が一トラブルが起こった時のインパクトが大きいため、ストレージに多額の費用を費やしたり、データのバックアップも行ったりと、運用のプレッシャーも相当なものでした。

そんな中、三谷商事さんからNutanixについて提案があり、そこで初めてNutanixのことを知りました。その後、Nutanixの方がわざわざ福井まで来てくれて、直接説明をいただき、「今やっているような運用がなくなりますよ」とお話していただいたことを印象深く覚えてます。当時は3-Tier構成を使って運用するという考えしかなかったのですが、NutanixのHCI (Hyper-Converged Infrastructure) 構成をご提案いただきました。率直に言うと、それまではあまり興味がなかったのですが、導入後の具体的なイメージもつかめるようになると、導入意欲が一気に高まりましたね。

— どんناところが導入の決め手になりましたか？

東様: 運用管理のしやすさが1番の決め手ですね。以前の環境と異なり、サーバーやストレージ、ネットワークが一元管理できるという点が魅力で、運用の効率化が期待できると感じたので、Nutanixの方の話を聞いた直後から「これは導入したい!」と思っていました。

会社としては初めてのサービスを導入することになるので、当時の社長からは「本当に大丈夫なの?」と心配される場面もありましたが、今までと比べたら運用の手間が省けることと、最悪の場合にデータが消えてしまうという可能性も低くなることを説得材料にして、無事に導入に至ることができました。

メンテナンスの負担軽減を実現。
Nutanix 導入後も「安心感」が続く理由

— 実際の導入はどのように進められたのでしょうか？

東様: 一般的にこうしたシステムというのは自分たちで導入作業をする場合もあるのですが、当社ではNutanixに関する知識があまりなかったこともあり、今回は全面的に三谷商事さんに作業を依頼しました。当社から「こんなことがやりたい」「あんなことができるようにしてほしい」といった要望を伝えて、それを三谷商事さんが形にして実現してくれたようなイメージですね。

— 実際に導入してみて、どのような変化がありましたか？

東様: 使い勝手自体がそこまで大きく変わったわけではありませんが、ハードウェアやソフトウェアをアップデートするといったようなメンテナンスはしやすくなり、作業もスムーズになりましたね。そうした面では、Nutanixを導入してから運用の負担が軽減されました。導入前に感じていた課題が見事に解消され、とても助かっています。

また、以前は強い緊張感を持って運用していましたが、Nutanixの導入によって構成が変わったことで、その緊張感が和らいだというのは、心理的にもとても大きな変化かもしれませんね。

— 三谷商事にサポートを依頼良かったと感じた点はありますか？

東様: 実は三谷商事さんは、Nutanixの最上位販売店資格「Champion Reseller(チャンピオンリセラー)」を持っているんです。チャンピオンリセラーから購入するというだけでも信頼性がありますが、良いところはそれだけではないんですよ。チャンピオンリセラーの地位を維持するのって結構大変なことみたいで、一定以上の販売数をクリアしていることは当然のこと、それ以外にもエンジニアの方が様々な資格を取得して専門知識をブラッシュアップしていく必要があるそうなのです。



なので、そうした専門資格を持っている人が身近にいて、導入後も適宜サポートを受けられるというのは非常に安心感がありますよね。実際に、何かあった際は気軽に質問や相談させていただくのですが、その時の対応は非常に迅速ですし、必要に応じてNutanixの方も動いてくれるので心強いですよ。

自社のインフラ強化を顧客サービスに還元。
堅実なインフラ運用の継続を目指して

— 特にどのような企業に、Nutanix をおすすめしたいですか？

東様: ぜひ、同じような運用に課題を持つ企業にも導入をおすすめしたいです。世間ではクラウド化の流れですが、実はいまだにサーバーを外部に預けることなく自社の敷地内に置いている会社さんって多いと思っているんですよ。大事なデータだから外に出さない等、慎重な企業も多いのではないのでしょうか。

都市圏の場合は競合も多く、スピード重視でクラウドを導入して進めていくという雰囲気も強いのですが、例えば、福井県の企業は「そういう新しい技術があるのは知っているけど、実際に自社に取り入れるのはまだまだ先かな・・・」と思っている企業の方も一定数あるのではないかなと思います。このような状況で私たちミテネインターネットと同じように運用に課題を抱えている企業にとっては、Nutanixの導入は、インパクトが大きいと思っています。

導入後に三谷商事さんが開催するセミナーに参加し、私も登壇させてもらったことがあるのですが、セミナー自体もとても好評だったようなので、徐々に興味を持って導入に向けて検討しはじめている企業も出てきているのかなと思います。実際に福井県内でも「Nutanixについてちょっと話を聞きたいです」とお話をする機会も増えました。

データを外部に出すことに慎重で、社内でシステムを稼働させている企業にとって、当社の導入事例が参考になれば嬉しいですね。

— 最後に、御社の今後の展望についてお聞かせください。

東様: 当社はサービスプロバイダーなので、これからもNutanixを活用しながら、より安定した運用体制の構築を目指し、顧客に安心して利用していただけるサービスを提供していきます。



©2024 Nutanix, Inc. All rights reserved. Nutanix は Nutanix, Inc. の米国その他の国における商標です。その他の社名、製品名、ロゴ等は、それぞれの所有者の商標または登録商標です。本書に記載した情報は、予告なしに変更される場合があります。

問合せ先

**MITANI CORPORATION**
三谷商事株式会社
✉ nutanix_info@mitani-corp.co.jp

